

令和 7 年第 4 回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和 7 年 1 2 月 3 日（水）

質 問 者 日本共産党 真下 紀子 議員

答 弁 者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
一 新政権の外交姿勢と本道への影響等について 我が国は、日中共同声明における「台湾は中国の一部である」との中国の立場を理解・尊重するとしており、我が党も同様の認識です。ところが、高市早苗首相が国会で「台湾有事は存立危機事態になり得る」と答弁したことで、日中関係が急激に悪化し、本道経済にも打撃が及んでいます。 そこで本道における中国各都市との友好関係と経済交流の現状について伺うとともに、首相の発言に端を発した外交関係の悪化と道内への影響について、知事はどう受け止め、国に対策をどう求めているのか伺います。	（知事） 中国による一連の措置についてであります。中国は、道と黒竜江省をはじめ、道内 1 2 市が友好都市と交流を積み重ねるとともに、道の上海事務所を拠点に、道産品の販路拡大や誘客など経済面での関係も構築してきた重要な国の一つであります。今回の渡航自粛要請や水産物に関する発言などにより、宿泊施設や航空便にキャンセルなどが出始め、今後の影響を懸念しているところでございます。 国においては、冷静かつ毅然とした外交を行うとともに、正確な情報や安全安心で美味しい水産物の魅力発信などを行っていただきたく、道としては、政府間の動向を注視し、関係機関との連携を密にし、相談対応や状況調査を行い、必要な対策を検討するなど、事業者の方々や道民の皆様へ寄り添った対応に努めるとともに、本道への影響を勘案しながら、適切に対応してまいります。

